

患者向医薬品ガイド

2022年8月更新

ハルロピテープ 8mg
ハルロピテープ 16mg
ハルロピテープ 24mg
ハルロピテープ 32mg
ハルロピテープ 40mg

【この薬は？】

販売名	ハルロピ テープ 8mg HARUROPI Tapes 8mg	ハルロピ テープ 16mg HARUROPI Tapes 16mg	ハルロピ テープ 24mg HARUROPI Tapes 24mg	ハルロピ テープ 32mg HARUROPI Tapes 32mg	ハルロピ テープ 40mg HARUROPI Tapes 40mg
一般名	ロピニロール塩酸塩 Ropinirole Hydrochloride				
含有量 (1枚中)	8mg	16mg	24mg	32mg	40mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ドパミン作動性パーキンソン病治療剤と呼ばれるグループに属する貼り薬です。

- ・この薬は脳内の神経伝達物質であるドパミンの受容体に作用することにより、パーキンソン病の症状である、ふるえ、筋肉のこわばり、動作が遅くなる、安定した姿勢を保てないなどの症状や日常生活動作、運動能力の低下を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

パーキンソン病

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して急に使用を中止したり、量を減らしたりすると、病気が悪化したり、悪性症候群（高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇するなど）や薬剤離脱症候群（無感情、不安、うつ、疲労感、発汗、疼痛など）などがあらわれることがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬を使用すると、前兆のない突発的睡眠（突然の耐えがたい眠気）や傾眠（刺激がないと眠ってしまう）があらわれることがあり、この薬と同じ成分の薬を飲んで自動車を運転し、突発的睡眠により自動車事故を起こした例が報告されています。突発的睡眠や傾眠などについて十分に理解できるまで医師の説明を受けてください。また、この薬を使用中は自動車の運転や機械の操作、高所作業など危険を伴う作業はしないでください。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。

- 次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にハルロピテープに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人

- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・幻覚（実際には存在しないものを存在するかのよう感じる）、妄想（根拠が無いのに、あり得ないことを考えてしまう、論理的な説得を受け入れようとしない）などの精神症状がある人や過去にこれらの症状があった人
- ・心臓に重篤な障害がある人や過去に心臓に重篤な障害のあった人
- ・低血圧症の人
- ・腎臓に重い障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・授乳中の人

- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

- ・通常、成人の使用量および回数は次のとおりです。

	開始量	最大量
1日量	8mg	64mg
使用回数	1日1回 毎日ほぼ同じ時間に（24時間毎に）貼り替えます。	




1枚中に有効成分を8mg、16mg、24mg、32mgまたは40mg含有するものがあり、これらを組み合わせて使用することがあります。

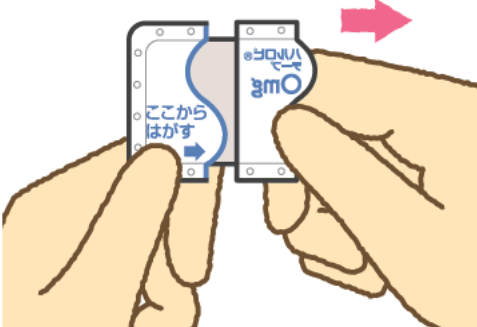
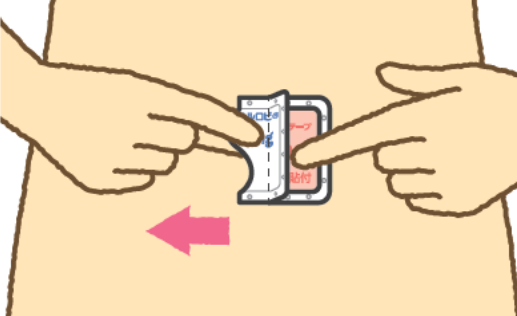
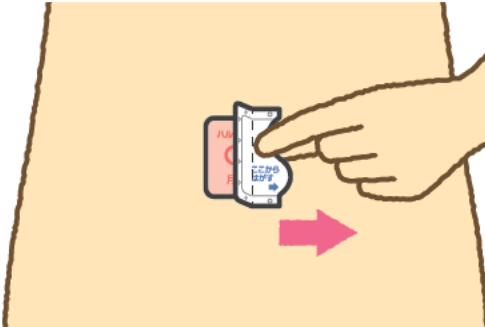

- ・この薬は少量から使い始め、悪心（吐き気）、嘔吐（おうと）などの消化器症状や血圧などの観察をしながら、必要に応じて1週間以上の間隔で8mgずつ慎重に増量し、維持量が決められます。

●どのように使用するか？

- ・この薬を貼り替える時は、前日に貼った薬をはがしてから、新しい薬を貼ってください。
- ・貼る時まで、包装袋を破らないでください。開封後は速やかに使用してください。
- ・あらかじめ貼る部位を乾いたタオルなどでよく拭いてください。
- ・胸部、腹部、わき腹（側腹部）、太もも（大腿部）または上腕部のいずれかに貼ってください。
- ・傷口や皮膚に異常がある部位には使用しないでください。
- ・かぶれなどを防ぐため、毎回貼る場所を変えてください。
- ・入浴などの時間を考慮し、毎日1回、同じ時間に貼り替えてください。

<貼り方>

	<p>①貼る場所を清潔にする 貼る場所をよく拭いて清潔にしてください。 また、水分や汗は十分に取り除いてください。</p>
	<p>②お薬を取り出す 開け口からミシン目にそって切り取り、開封してください。</p> <p>お薬を取り出してください。</p>
	<p>③日付の記入 お薬に貼る日付を記入してください。</p>

	<p>④フィルムをはがす 「ここからはがす」と書かれた白いフィルム面を上にしてください。</p> <p>フィルム中央で折り返し、片方のフィルムをずらし、粘着面を少し出してください。</p>
 	<p>⑤お薬を貼る 貼る場所に粘着面をあて、フィルムをずらしながら貼ってください。</p> <p>もう一方も折り返して、フィルムをずらしながら貼ってください。</p>
	<p>⑥しっかり密着させる 手のひらでお薬を押さえ、しっかりと皮膚に密着させてください。</p>
	<p>⑦手を洗う お薬を貼った後は手を流水でよく洗ってください。</p>

●はがれた場合の対応

薬が途中ではがれた場合は、すみやかに新しい薬を貼ってください。次の貼り替えはいつもと同じ時間にしてください。

●使用し忘れた場合の対応

貼り忘れや貼り替えていないことに気付いた場合でも、決して2回分を一度に貼らないでください。

気付いたらすぐに貼り替えて、次回からはいつもと同じ時間に貼り替えてください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

悪心（吐き気）、嘔吐（おうと）、不随意運動（自分の意思とは関係なく身体が動く）、錯乱（注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない）、痙攣（けいれん：顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にぼーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える）などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は薬をはがして、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用すると、突発的睡眠（突然の耐えがたい眠気）や傾眠（刺激がないと眠ってしまう）があらわれることがあります。突発的睡眠や傾眠などについて十分に理解できるまで医師の説明を受けてください。この薬の使用中は自動車の運転や機械の操作、高所作業など危険を伴う作業はしないでください。
- ・特に使用しはじめの時期に、めまい、立ちくらみ、ふらつきがみられることがあります。このような症状があらわれた場合には医師に相談してください。
- ・この薬を急に減量または中止すると悪性症候群（高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する）や薬剤離脱症候群（無感情、不安、うつ、疲労感、発汗、疼痛など）があらわれることがあります。自己判断でこの薬を急に減量または中止しないでください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。
- ・社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を持続的に繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進したりするなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。患者さんや家族の方は、医師からこれらの症状について理解できるまで説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・この薬は、貼っている部位の温度が上がると体内へ吸収されやすくなるおそれがあります。この薬を貼っている部位が過度の直射日光、アンカ、カイロ、湯たんぽ、サウナなどで熱くならないようにしてください。
- ・この薬を使用すると、皮膚症状（発疹、かゆみなど）があらわれることがあるので、貼る場所を毎回変えてください。皮膚症状があらわれたら医師に相談してください。
- ・患者さんや家族の方は、この薬を貼り替える際に、前日に貼った薬をはがしたことを確認してから、新しい薬を貼ってください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状は以下のとおりです。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
突発的睡眠 とっばつてきすいみん	突然の耐えがたい眠気
極度の傾眠 きょくどのけいみん	非常に眠くなり刺激がないと眠ってしまう
幻覚 げんかく	実際には存在しないものを存在するかのようを感じる
妄想 もうそう	根拠が無いのに、あり得ないことを考えてしまう、論理的な説得を受け入れようとしない
興奮 こうふん	口数が多くなる、大声で叫ぶ、周囲に暴力をふるう、器物を破壊する、些細なことで怒る
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
譫妄 せんもう	軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、汗をかく、体のこわばり
頭部	突然の耐えがたい眠気、非常に眠くなり刺激がないと眠ってしまう、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、根拠が無いのに、あり得ないことを考えてしまう、論理的な説得を受け入れようとしない、口数が多くなる、大声で叫ぶ、周囲に暴力をふるう、器物を破壊する、些細なことで怒る、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、軽度の意識混濁、興奮状態、ぼーっとする
口や喉	話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい
胸部	呼吸数が増える
手・足	手足のふるえ、脈が速くなる
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	ハルロピテープ 8mg	ハルロピテープ 16mg	ハルロピテープ 24mg
包装袋			
形状	<p><支持体側></p>  <p><フィルム側></p> 	<p><支持体側></p>  <p><フィルム側></p> 	<p><支持体側></p>  <p><フィルム側></p> 
大きさ	23.2mm×23.2mm	32.8mm×32.8mm	40.1mm×40.1mm
色	淡褐色～褐色		
識別コード	HP3210T	HP3211T	HP3212T

販売名	ハルロピテープ 32mg	ハルロピテープ 40mg
包装袋		
形状	<p><支持体側></p> <p><フィルム側></p>	<p><支持体側></p> <p><フィルム側></p>
大きさ	46.3mm×46.3mm	51.8mm×51.8mm
色	淡褐色～褐色	
識別コード	HP3213T	HP3214T

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ハルロピ テープ 8mg	ハルロピ テープ 16mg	ハルロピ テープ 24mg	ハルロピ テープ 32mg	ハルロピ テープ 40mg
有効成分	ロピニロール塩酸塩				
添加剤	脂環族飽和炭化水素樹脂、スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、流動パラフィン、ポリイソブチレン、その他4成分				

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・この薬を使用するまでは包装袋を開けずに保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？

- ・粘着面を内側にしてふたつ折りにたたんだ後、廃棄してください。
- ・子どもの手や目の届かないところに廃棄してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：久光製薬株式会社

販売会社：協和キリン株式会社 (<https://www.kyowakirin.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話 0120-850-150

受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日及び弊社休日を除く）